

Tsuyama College		Year	2022		Course Title	Theory of Regional Culture
Course Information						
Course Code		0130		Course Category	Specialized / Elective	
Class Format		Lecture		Credits	Academic Credit: 2	
Department		Department of Integrated Science and Technology Communication and Informations System Program		Student Grade	5th	
Term		Second Semester		Classes per Week	2	
Textbook and/or Teaching Materials		教科書：なし（プリントを配布）				
Instructor		EHARA Yumiko				
Course Objectives						
学習目的： 地域の歴史や文化について知ることを通して、津山への理解を深める。 積極的に地域との関わりを持ち、地域文化の保存・継承・発展について思索する。						
到達目標 1. 地域の歴史や文化についての理解を深め、その特徴や独自性を説明できるようになる。 2. 地域文化の保存・継承・発展について、意見や考えを持ち、自らの言葉で説明できるようになる。 ◎ 3. 効果的な説明方法や手段を用いて、他者とのコミュニケーションを図ることができる。						
Rubric						
	優		良		可	不可
評価項目1	地域の歴史や文化について理解し、その特徴や独自性を分かりやすく説明することができる。		地域の歴史や文化について理解し、その特徴や独自性を説明することができる。		地域の歴史や文化について理解し、その特徴や独自性を説明する努力をすることができる。	地域の歴史や文化について理解しようとししない。
評価項目2	地域文化の保存・継承・発展について、自らの意見や考えを持ち、説得力のある言葉で他者に説明することができる。		地域文化の保存・継承・発展について、自らの意見や考えを持ち、他者に説明することができる。		地域文化の保存・継承・発展について、自らの意見や考えを持ち、他者に説明する努力をすることができる。	地域文化の保存・継承・発展について、自らの意見や考えを持とうとししない。
評価項目3	臨機応変に方法や手段を選択し、より良いコミュニケーションを行うことができる。		的確な方法や手段を考え、円滑なコミュニケーションを行うことができる。		適切な方法や手段を考え、コミュニケーションを行う努力をすることができる。	効果的なコミュニケーションについて考えない。また、コミュニケーションを行うとうとししない。
Assigned Department Objectives						
Teaching Method						
Outline	一般・専門の別：専門 学習の分野：融合科目・その他 基礎となる学問分野：人文科学・社会科学・自然科学全般 学習教育目標との関連：本科目は総合理工学科学学習教育目標「④分野横断的な融合力の育成」「⑤グローバルな視点と社会性の養成」「⑥課題探究・解決能力の育成」及び、「⑦コミュニケーション力・プレゼンテーション力の育成」に相当する科目である。 授業の概要：津山の歴史や文化、洋学についての講義、フィールドワークとその成果発表を通して、地域や地域文化についての理解を深める。					
Style	授業の方法：前半は、津山の歴史や文化、洋学についての講義を行う。後半は、津山洋学資料館の見学、まち歩きフィールドワークと、その成果の発表を行い、地域や地域文化への総合的な理解を深める。 成績評価方法： ・成績は、発表（30%）＋課題提出物（30%）＋最終レポート（40%）により評価する。 ・定期試験は実施しない。					
Notice	履修上の注意：本科目を選択した者は、学年の課程修了のために履修（欠課時間数が所定授業時間数の3分の1以下）が必須である。また、本科目は「授業時間外の学修を必要とする科目」である。当該授業時間と授業時間外の学修を合わせて、1単位あたり45時間の学修が必要である。授業時間外の学修については、担当教員の指示に従うこと。 履修のアドバイス： ・事前に行う準備学習として、津山地域の歴史や文化に関する情報を収集しておくこと。史跡を訪れる、祭りに参加する、ご当地グルメを味わう等、方法は何でもよい。 ・積極的に地域との関わりを持ち、日々の生活においても地域文化について考える機会を持つようにすること。 基礎科目：これまでに学習した全科目 関連科目：地域マネジメント論 受講上のアドバイス： ・授業開始時刻に遅れた場合、20分までは遅刻、それ以降は欠課として扱う。 ・主体的にフィールドワークを行うこと。 ・授業に積極的に参加し、期限を守って忘れずに課題を提出すること。					
Characteristics of Class / Division in Learning						
☒ Active Learning		☒ Aided by ICT		☒ Applicable to Remote Class		☐ Instructor Professionally Experienced
履修選択						
Course Plan						
			Theme		Goals	
2nd Semester r	3rd Quarter	1st	ガイダンス		授業の内容・方法等について知る。	
		2nd	津山の歴史と文化①		津山の歴史と文化について知る。	
		3rd	津山の歴史と文化②		津山の歴史と文化について理解を深める。	
		4th	津山の洋学①津山における洋学の流れ		津山における洋学の流れを知る。	

		5th	津山の洋学②宇田川玄随（槐園）・宇田川玄真（榛斎）	宇田川玄随（槐園）と宇田川玄真（榛斎）の功績について知る。
		6th	津山の洋学③宇田川榕庵	宇田川榕庵の功績について知る。
		7th	津山の洋学④箕作阮甫	箕作阮甫の功績について知る。
		8th	（後期中間試験）	
	4th Quarter	9th	津山の洋学⑤箕作省吾・箕作秋坪とその子孫	箕作省吾・箕作秋坪とその子孫の功績について知る。
		10th	フィールドワーク①津山洋学資料館見学	津山洋学資料館の見学により、津山の洋学への理解を深める。
		11th	フィールドワーク②まち歩き	まち歩きを通して、津山地域の魅力を再発見すると共に、地域文化の保存や発展について思索する。
		12th	フィールドワーク成果発表①	まち歩きの成果の発表を通して、地域や地域文化への理解を深める。
		13th	フィールドワーク成果発表②	まち歩きの成果の発表を通して、地域や地域文化への理解を深める。
		14th	フィールドワーク成果発表③	まち歩きの成果の発表を通して、地域や地域文化への理解を深める。
		15th	（後期末試験）	
		16th	まとめ	まとめを行い、津山地域への総合的な理解を深める。

Evaluation Method and Weight (%)

	試験	発表	課題	レポート	Total
Subtotal	0	30	30	40	100
基礎的能力	0	15	15	20	50
専門的能力	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	15	15	20	50